

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート 令和5年度の取り組み

	総合戦略事業名	主な事業担当課名	ページ
	シートの見方	—	2
1	エコノミックガーデニング推進事業	産業振興課	3
2	観光推進事業	産業振興課	5
3	タウンセールス推進事業	企画政策課 広報戦略課	7
4	結婚・出産・子育て環境整備事業	子育て支援課 保育幼稚園課 学び推進課	10
5	魅力的な教育環境推進事業	学校教育課 教育政策課	13
6	安心なまちづくり整備事業	町民安全課	15
7	若者参画推進事業	町民協働課	17
8	快適なまちづくり推進事業	都市計画課	19

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略 取り組み状況点検シート
令和5年度の取り組み

取り組みの概要(Plan)

総合戦略事業名	観光推進事業		
戦略事業責任者	環境経済部長	作成責任者	産業振興課長
担当部課名	環境経済部産業振興課		
基本目標	基本目標2 「さむかわ」を知ってもらい、新しい人の流れをつくります		
施策名	施策2 アピールポイントの発見・創出と発信力の強化		
目指すべき基本的方向	○本町の知名度を向上させ、新たな人の流れを生み出し、定住につなげるため、本町の「売り」となる魅力や特色ある地域資源を有効に活用した「まち」のイメージアップにつながる取り組みを実施するとともに、効果的なタウンセールスを展開するなど、情報発信力を強化します。		

事業費の状況(単位:円) (令和5年度)	予算額	23,058,000
	決算(見込み)額	22,678,980

KPI (重要業績評価指標)	指標名(単位)	基準値	実績値			
			目標値			

取り組みの検証／内部評価（Check1）

KPI （重要業績評価指標）の達成状況に関する分析	新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日より感染症法上の5類に位置付けられたこともあり、観光客数もコロナ禍以前のにぎわいに戻ってきたと考えられる。		
取り組みの成果	町観光協会においては、ツアーや冬のひまわり等様々なイベント等を開催し、寒川町のPRに取り組んでいる。 広域の事業としては、東京スカイツリーで開催されたOZの女子旅EXPO2023にブースを出店し、パンの販売やクリアファイル等の配布等を通じて湘南のPRを行った。ターゲットとしては女性としており、イベント参加の満足度（非常に満足・満足を含わせて90%）も高く、イベントに参加された方の多くが旅行に行きたくなった（とても行きたくなった・行きたくなったを含わせて99%）とアンケートで回答している。 シェアサイクルについては、スルガ銀行と協定を締結し、スルガ銀行のSNSで湘南地域のスポット紹介やPRを実施。利用実績については、利用回数3,958回、利用者数1,413人、稼働自転車台数1,162台。1月の利用回数が多い傾向。ステーションでの貸出回数は駅前がもっとも多い。		
取り組みの課題	イベントの開催について、変更等があるため、どう実施していくか等、他団体とも連携をしながら取り組む。 広域の事業としては、効果的に県外PR等を実施する方法について引き続き議論をしていく。 シェアサイクルについては、ポートの設置場所の確保が困難。		
内部評価結果	☒ 現状維持（計画どおり）	☐ 要改善	☐ 抜本的な見直し
今後の取り組み	引き続き町観光協会と連携を図っていく 広域の事業としては、他市町との連携や県外へのPR強化 シェアサイクルについては、引き続きポートの設置候補の検討、スルガ銀行との情報発信等		

取り組みの検証／外部評価（Check2）

KPIに対する事業の効果

取り組みの検証／外部評価 (Check2)

KPIに対する事業の効果	■有効であった □有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	■適当である □適当ではない
外部委員会からの意見	LINEを活用して、イベントやロケ誘致等のお知らせが積極的になされていることは有効的だと考える。

取り組みの改善 (Action)

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	LINEについては、令和6年7月末時点で20,000人を超える方々に友達登録をしていただいておりますが、その反面ブロック数も増加している状況です。 今後につきましても、ただ情報発信するのではなく、町民の皆様が必要とする情報を見極めながら、効果的な情報発信ができるよう取り組んでまいります。
------------------------	---

取り組みの検証／外部評価（Check2）

KPIIに対する事業の効果	■有効であった □有効とは言えなかった
内部評価に対する評価	■適当である □適当ではない
外部委員会からの意見	・児童クラブの保育量が改善されたことは評価できるが、依然不足している状況である。待機児童の実績以上にニーズがある（申請をあきらめている方もいるなど）ことは認識していただき、さらに保育の提供量を確保していく必要があると考える。 ・安心して子どもを産み育てられるように寒川町内に産科を誘致すべきである。

取り組みの改善（Action）

外部委員会からの意見を踏まえた今後の取り組み	・児童クラブの待機児童数が、児童クラブへの入所希望者全体の数ではないことを踏まえ、現在の施設の利用状況の見直しや新たな施設の確保も検討しながら、入所を希望することをためらわない環境の構築に努めてまいります。 ・全国的な少子化傾向を反映して、寒川町でも産科医療機関が不足しており、分娩可能な医療機関はないのが現状です。近隣市に分娩可能な産科医療機関が存在することから、現時点での産科医療機関の誘致は考えておりませんが、今後の動向を注視しながら対応策について検討してまいります。
------------------------	---

